

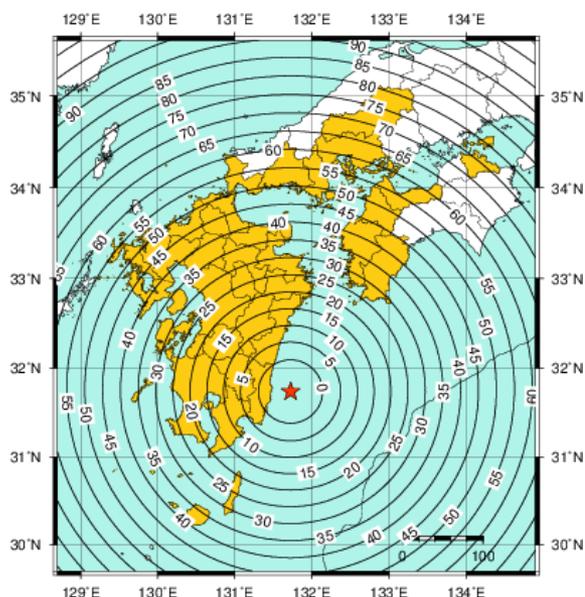
# 2024年8月8日16時42分頃の 最大震度6弱を観測した 日向灘の地震での 緊急地震速報に関するアンケート調査

## - 結果概要 -

作成：気象庁 地震火山部  
地震津波監視課 地震津波防災推進室

## 地震の概要

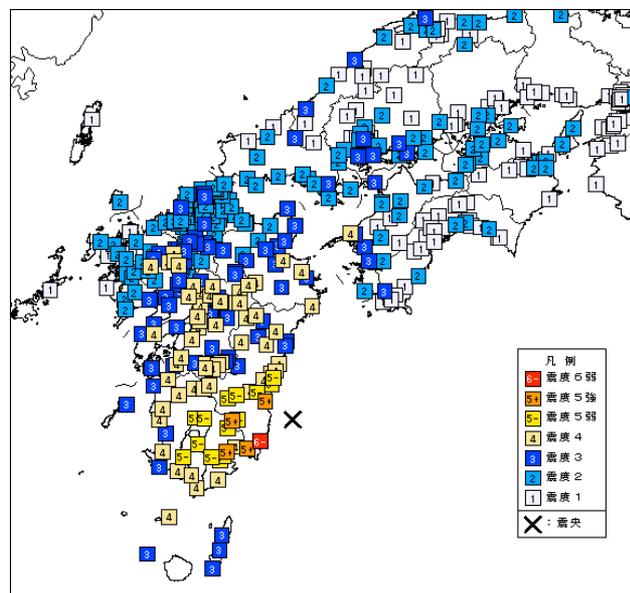
- 2024年8月8日16時42分頃に発生した日向灘を震源とする地震（M7.1）では、地震波検知から5.7秒後に緊急地震速報（警報）を発表
- 宮崎県の日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測
- この地震を契機に8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表



緊急地震速報（警報）を発表した地域  
及び主要動到達までの時間

緊急地震速報（警報）発表地域 ★ 震央

○ 緊急地震速報（警報）発表から  
主要動到達までの時間（単位：秒）



市町村ごとの震度分布図

(参考) 気象庁HP 緊急地震速報（警報）の発表状況

[https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub\\_hist/2024/08/20240808164303/reachtime/reachtime.html](https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/2024/08/20240808164303/reachtime/reachtime.html)

## 目的

- 2024年8月8日16時42分に発生した日向灘の地震に対する**緊急地震速報（警報）の利活用方策、効果や評価の実態を調査**することにより、今後の地震対策や情報提供に寄与し、近い将来発生することが想定される大規模な地震災害に対する当庁の防災業務に資することを目的とする

## 調査対象

- 2024年8月8日16時42分頃の地震で震度5弱以上を観測した市町村にいた18歳以上の男女（令和2年国勢調査の人口等基本集計に基づいて割付）

## 調査方法

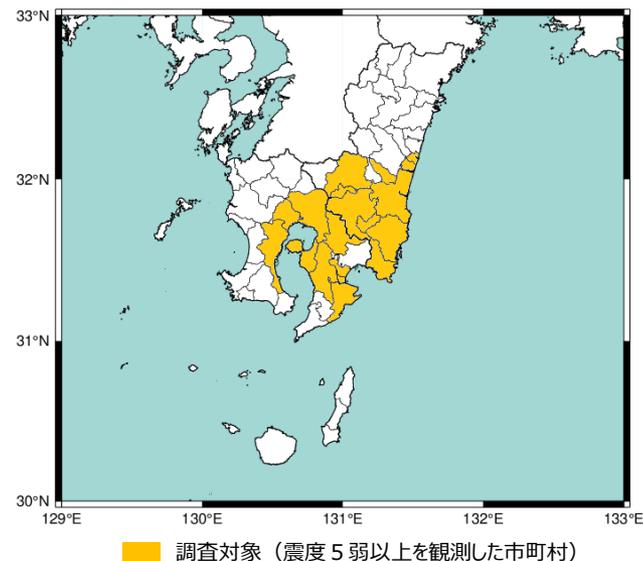
- インターネット上のWEB画面に用意した質問に回答する方式
- 調査委託先：株式会社サーベイリサーチセンター

## 調査期間

- 2024年11月26日～12月2日

## 有効回収数

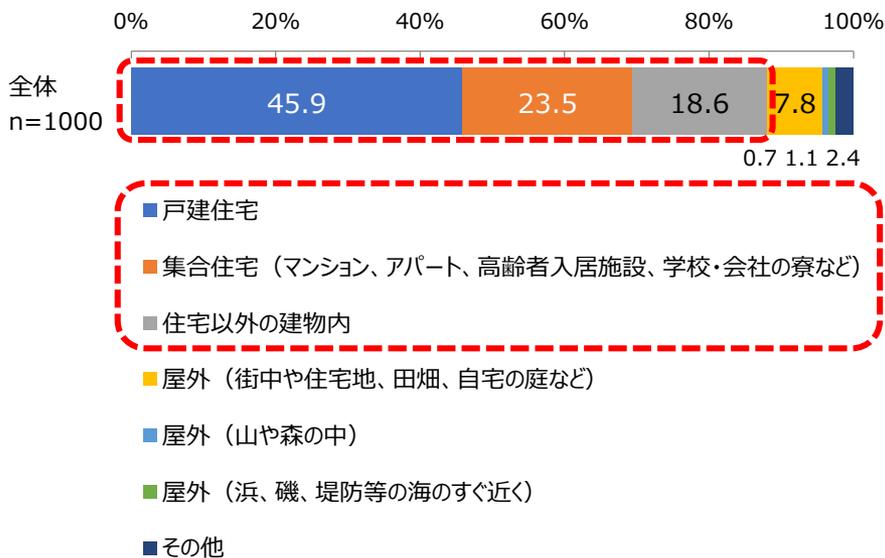
- 1,000サンプル



次項以降に代表的な調査結果を掲載します

- 地震発生時にいた場所は「屋内」が約9割であった
- 緊急地震速報を見聞きした手段で最も多かったのは「エリアメール、緊急速報メール（携帯電話・スマートフォン）」（6割強）で、次いで「テレビ」（5割弱）であった
- 9割強が音や映像で緊急地震速報であるとすぐに認識

## 地震発生時にいた場所



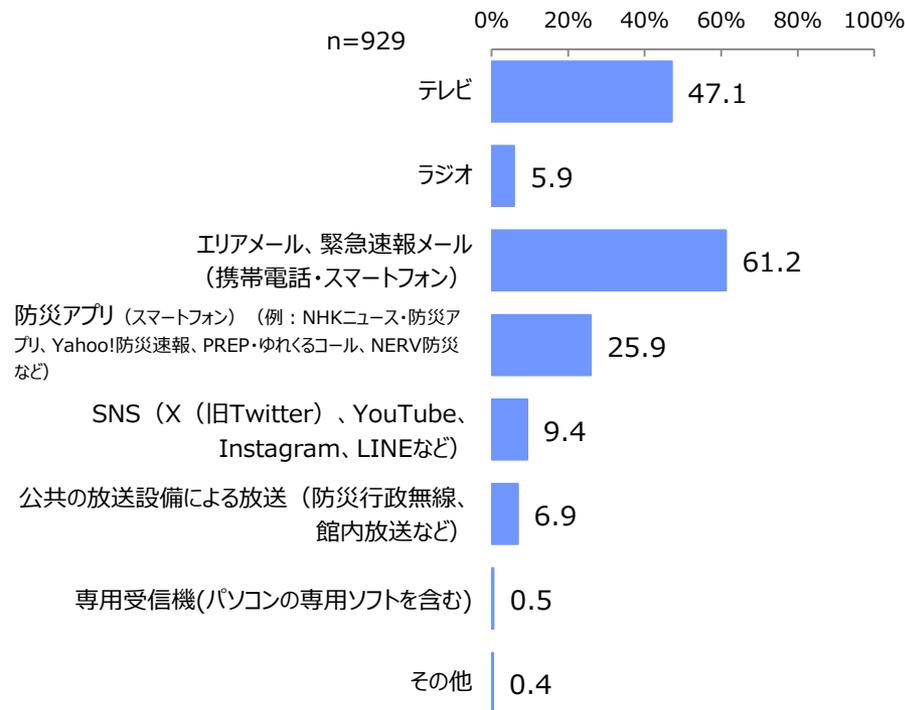
## 音や映像で緊急地震速報であるとすぐに認識できたか

（ベース：緊急地震速報を「見聞きした」と回答した方）



## 緊急地震速報を見聞きした手段

（ベース：緊急地震速報を「見聞きした」と回答した方）

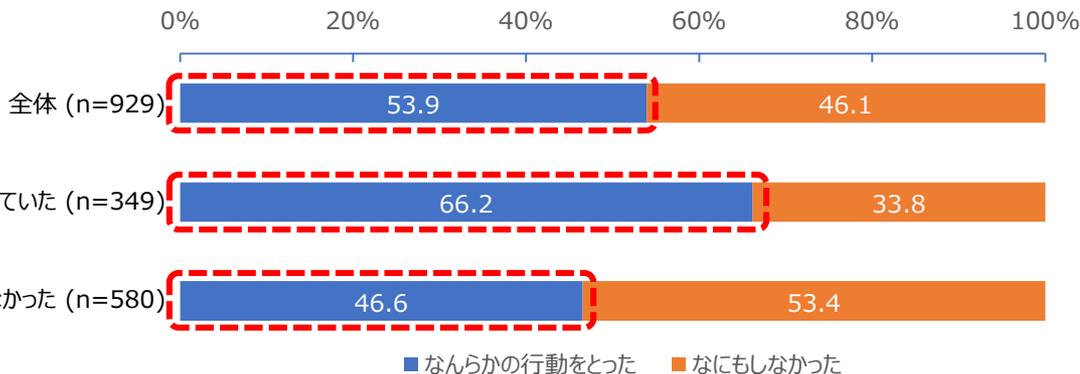


# 緊急地震速報を見聞きした際の行動の比較

- 緊急地震速報を見聞きした際の行動について、「なんらかの行動をとった」と回答した人は5割台半ばであった
- 緊急地震速報を見聞きした際の対応想定を地震発生以前に行っていたかどうかで比較したところ、「なんらかの行動をとった」について、「事前に対応行動を考えていた」割合が「事前に対応行動を考えていなかった」に比べて高い
- 具体的な行動は「その場で身構えた」が最も多く、次いで「周囲から倒れてくる物がないか注意した」であった

## 事前の対応想定有無別の緊急地震速報を見聞きした際の具体的な行動

(ベース：緊急地震速報を「見聞きした」と回答した方)



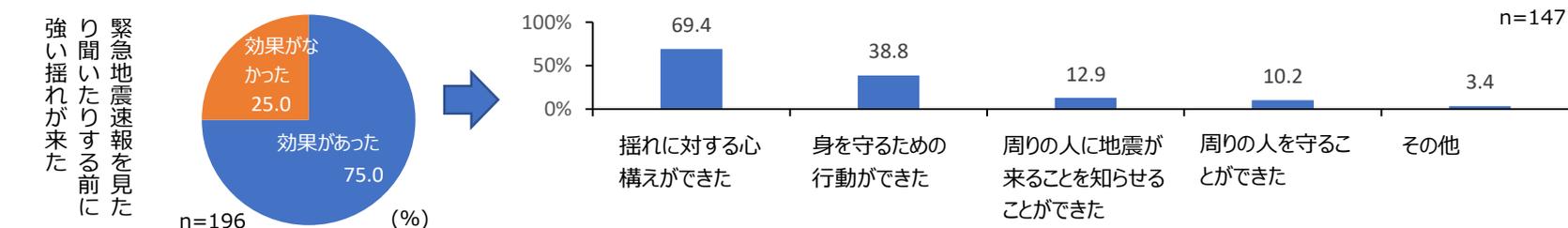
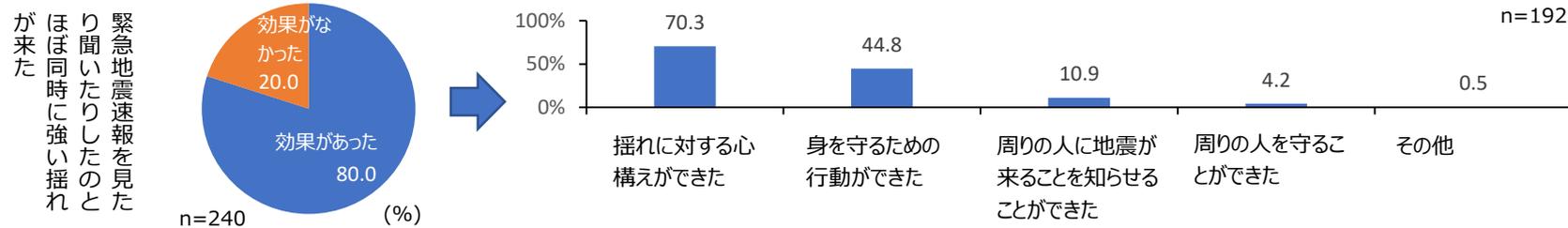
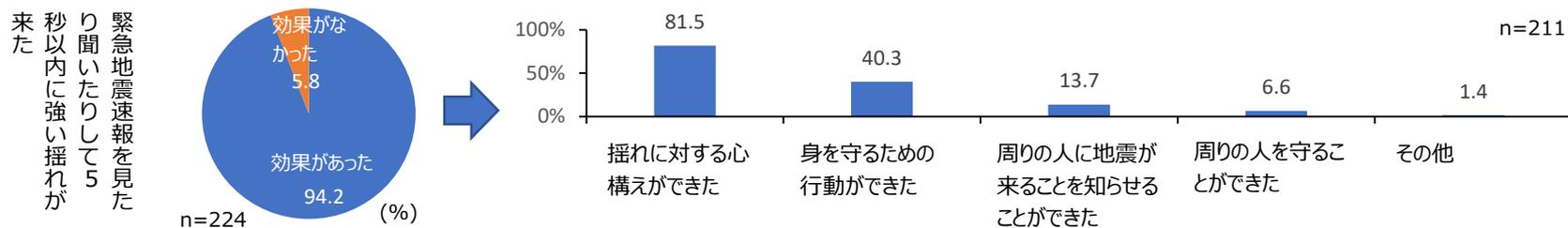
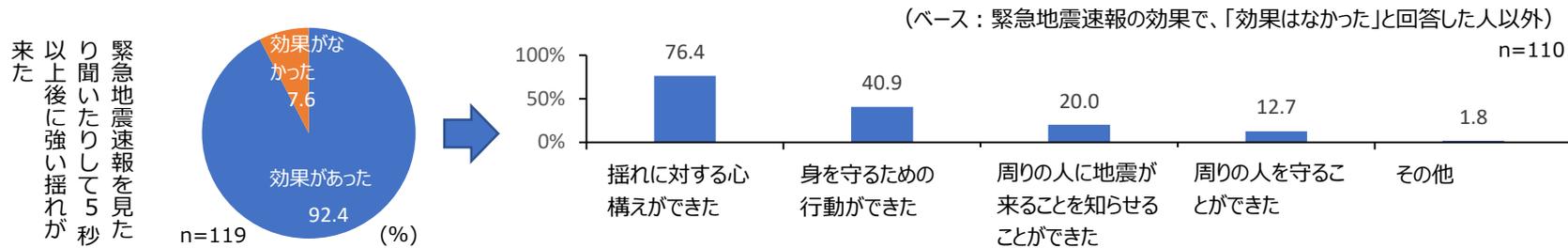
## 緊急地震速報を見聞きした際の具体的な行動

(ベース：緊急地震速報を「見聞きした」と回答した人のうち、緊急地震速報を見聞きした際に「なんらかの行動をとった」と回答した人)

全体との差	n	(%)																	
		その場で身構えた	周囲から倒れてくる物がないか注意した	安全と思う場所に移動した	頭を守る。机の下で身を隠すなどその場で身を守るための行動をとった	子どもや家族など身近な人を守るうとした	火の始末をした	家具などを押えた、または押えようとした	ドアなどを開けて逃げ道を確認した	外へ出た、または出ようとした	周りの人に地震が来ることを知らせた	テレビやラジオ、携帯電話などで地震情報を知ろうとした	家族や知人の安否を確かめた	避難する準備をした	(乗り物を運転しており) 緩やかにスピードを落とした	(乗り物を運転しており) 急ブレーキをかけた	その他 具体的に...	覚えていない	
全体	501	49.9	40.7	27.1	21.0	18.2	7.4	6.6	14.4	8.0	5.6	22.0	19.6	7.6	2.4	0.4	2.0	1.4	
地震発生以前に緊急地震速報を見聞きした際の対応を考えていた	231	52.8	45.9	31.2	20.3	17.7	6.9	7.8	14.3	6.5	6.1	26.0	17.7	7.4	2.6	0.0	2.6	0.0	
地震発生以前に緊急地震速報を見聞きした際の対応を考えていなかった	270	47.4	36.3	23.7	21.5	18.5	7.8	5.6	14.4	9.3	5.2	18.5	21.1	7.8	2.2	0.7	1.5	2.6	

# 猶予時間別効果の有無と効果の内容

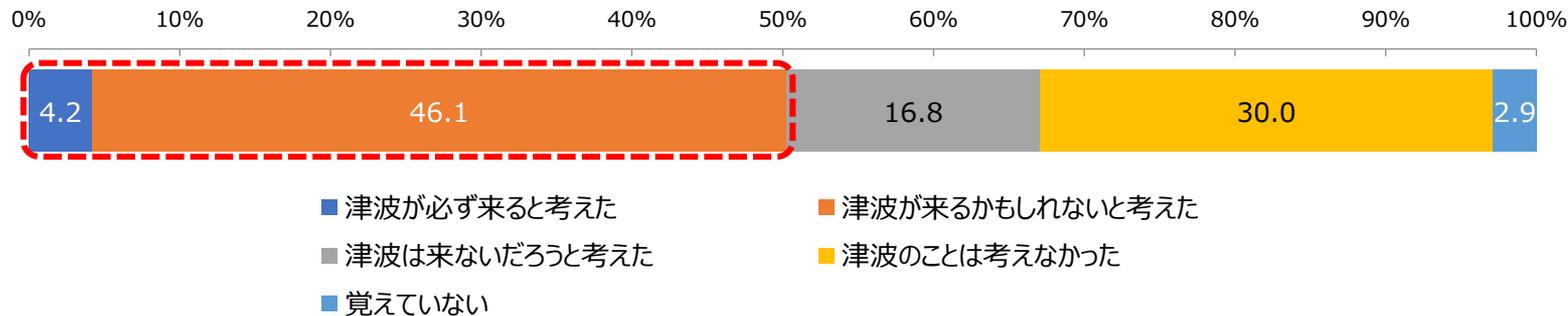
- 緊急地震速報の効果について緊急地震速報を見聞きしてから地震の揺れまでの猶予時間別に分析
- 猶予時間が長いほど「効果があった」とする割合が高く、緊急地震速報が間に合わなくても「効果があった」の回答は7割台半ばであった
- 具体的な効果の内容は猶予時間にかかわらず、「揺れに対する心構えができた」が最も多い



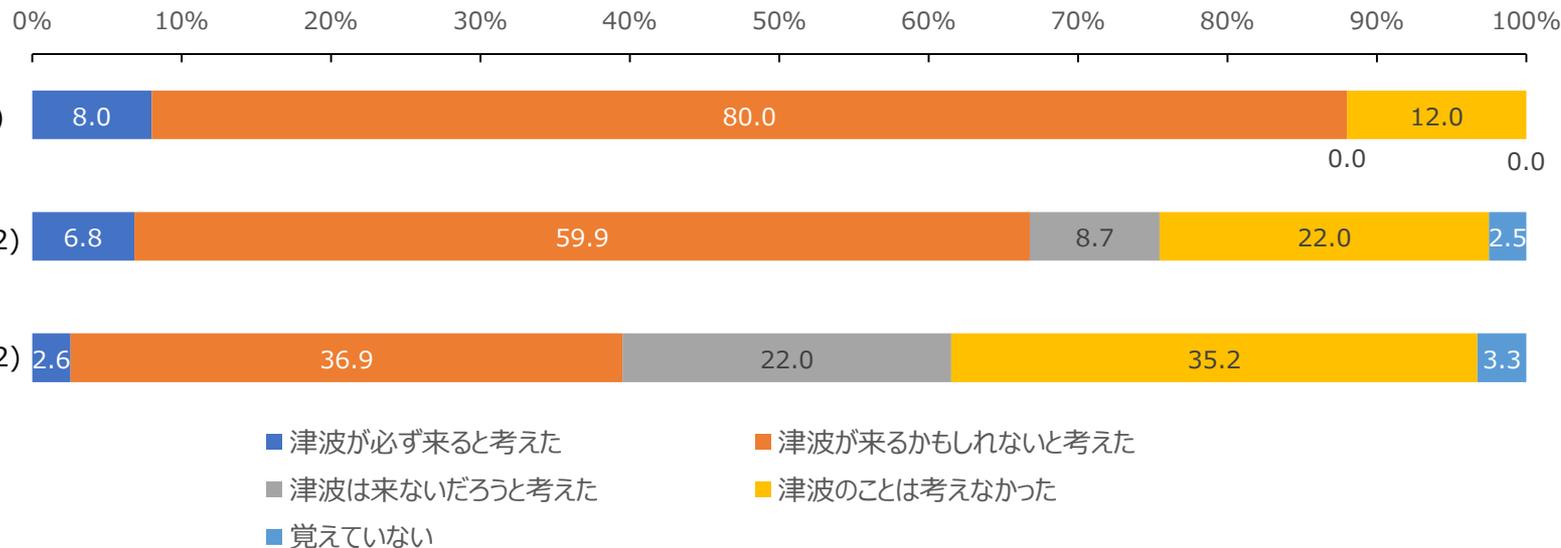
# 緊急地震速報を見聞きした際や揺れている最中に津波のことを考えたか

- 約 5 割が緊急地震速報を見聞き、または揺れを感じたことで津波が「来る」「来るかもしれない」と考えていた
- 震度別にみると、震度 5 強の地域で「津波が来るかもしれないと考えた」と回答した人は約 6 割（59.9%）で、震度 5 弱の地域（36.9%）に比べて高くなっている

（ベース：緊急地震速報を見聞きしたと回答した方）

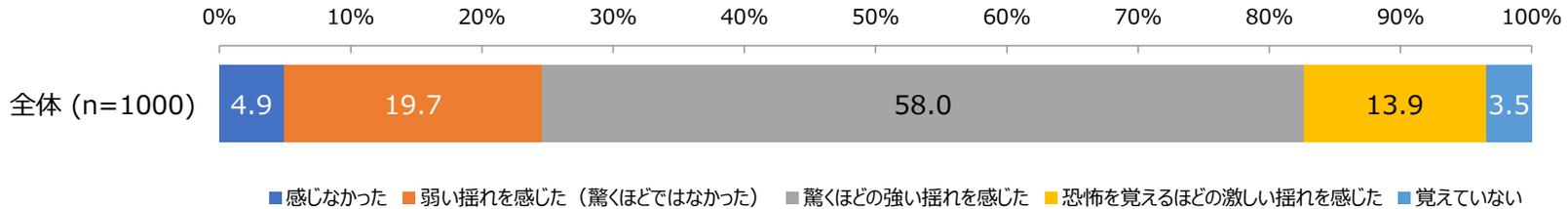


## <震度別>



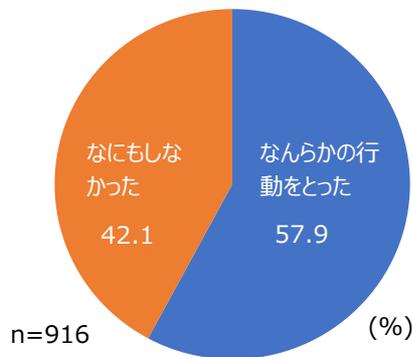
- 約7割が「驚くほどの強い揺れを感じた」「恐怖を覚えるほどの激しい揺れを感じた」と回答
- 6割弱が揺れを感じた時「なんらかの行動をとった」と回答しており、具体的な行動は「その場で身構えた」が最も多く、次いで「周囲から倒れてくる物がないか注意した」であった

## 地震で揺れを感じたか



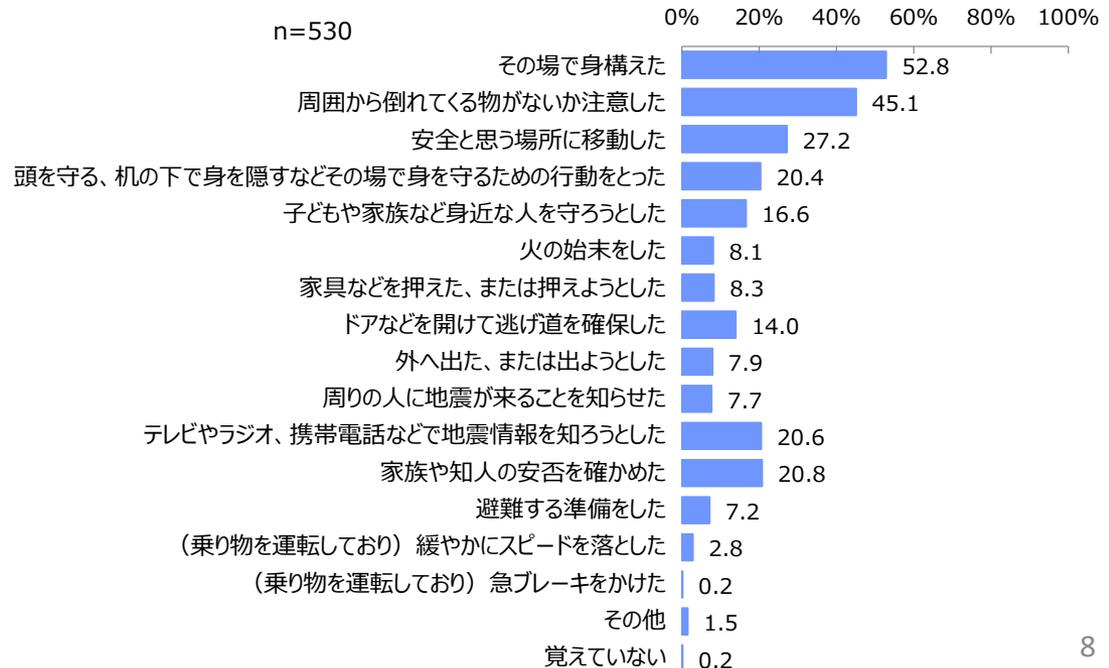
## 揺れを感じた際の行動

(ベース：地震の揺れを「感じなかった」「覚えていない」と回答した人以外)



## 揺れを感じた際の具体的な行動

(ベース：地震の揺れを感じた際の行動で「なんらかの行動をとった」と回答した方)



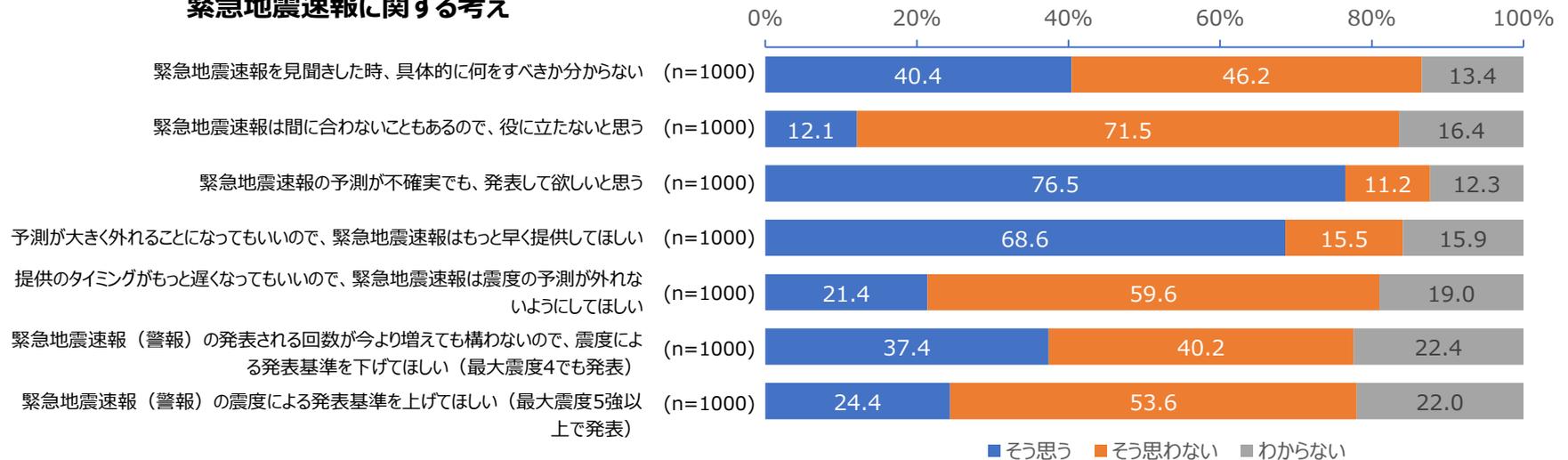
## 緊急地震速報に関する考え

- 「緊急地震速報の予測が不確実でも、発表して欲しいと思う」で「そう思う」と回答したのが7割台半ばであった
- 「予測が大きく外れることになってもいいので、緊急地震速報はもっと早く提供してほしい」で「そう思う」と回答したのが7割弱であった

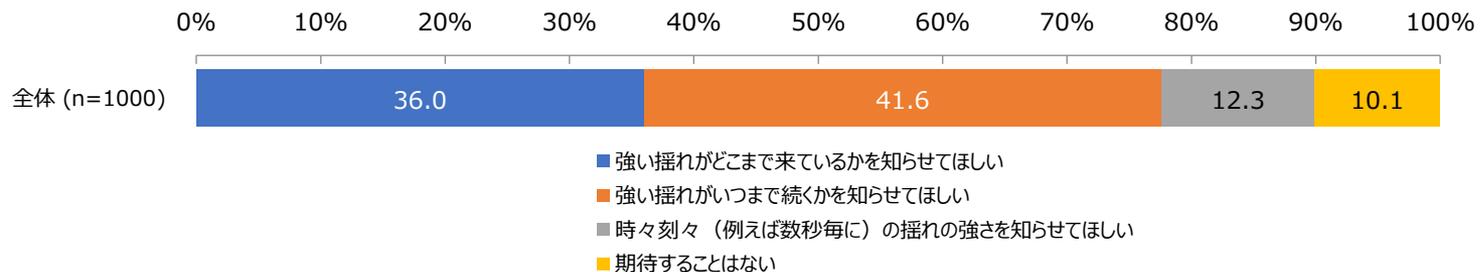
## 将来の緊急地震速報に期待すること

- 「強い揺れがいつまで続くかを知らせてほしい」が4割強で最も多い

### 緊急地震速報に関する考え

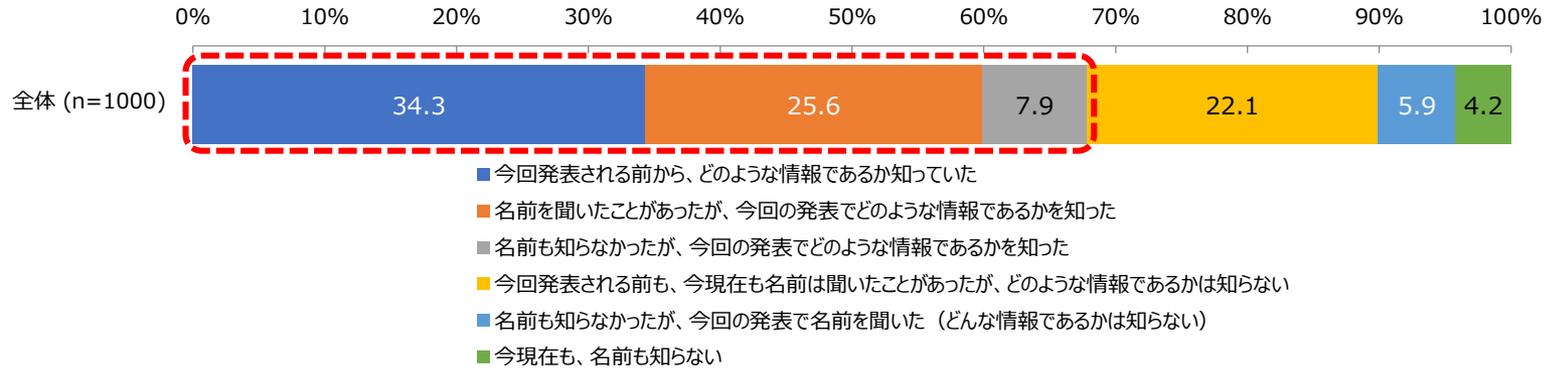


### 将来の緊急地震速報に期待すること



- 南海トラフ地震臨時情報の認知度は「今回発表される前から、どのような情報であるか知っていた」は3割台半ばであったが、今回の発表により南海トラフ地震臨時情報についての認知度が向上
- 南海トラフ地震臨時情報がどのような情報であるか知っている人ほど、スマートフォンを携帯するなど情報をすぐに取得できるような対応をとった傾向となっている

## 南海トラフ地震臨時情報発表前後での認知度



## 南海トラフ地震臨時情報発表前後での地震や津波に関する情報取得に対する意識の変化

全体との差		n	スマートフォンを携帯するようになった	枕元にスマートフォンを置くようになった	スマートフォンに防災アプリをインストールした	メールやアプリ、SNS等に登録した	（聞こえやすいように）スマートフォンの音量を大きくした	ニュースをこまめに確認するようにになった	地震や津波に関する情報の内容について調べた	その他	特に変化はなかった	地震の備えの再確認が知らなかった
全体		1000	35.3	31.4	12.8	9.5	4.4	29.4	19.4	1.2	21.6	3.6
南海トラフ臨時情報の認知度	今回発表される前から、どのような情報であるか知っていた	343	42.6	31.2	14.9	9.6	6.7	30.0	21.3	0.3	19.0	0.9
	今回の発表で、どのような情報であるかを知った	335	36.7	35.8	15.5	11.6	2.7	34.0	27.2	1.8	17.3	1.2
	今現在、名前を聞いたことがあるが、どのような情報であるか知らない	280	27.1	30.0	8.9	7.9	3.6	25.7	10.0	1.8	27.5	6.1
	今現在、名前も知らない	42	19.0	7.1	0.0	2.4	4.8	11.9	4.8	0.0	38.1	28.6

**アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。  
気象庁では、アンケート結果を踏まえ、緊急地震速報の利用に  
関する普及啓発および技術改善を引き続き行っていきます。**

**本調査結果の全体は「令和6年8月8日に発生した日向灘  
の地震における緊急地震速報の利活用状況に関する調査 報  
告書」をご参照ください。**